

福岡県医発第1662号(地)

平成17年12月14日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 竹嶋 康弘

インフルエンザワクチンの安定供給について

師走の候 貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、インフルエンザワクチンの安定供給対策等につきましては、平成17年7月30日付福岡県医発第849号(地)、平成17年10月7日付福岡県医発第1245号(地)、また、インフルエンザワクチンの安定供給に係る取扱いにつきましては平成17年12月9日付福岡県医発第1606号(地)をもってお送りいたしておりますが、今般、インフルエンザワクチンの安定供給について、下記のとおり各医療機関への周知徹底を改めてお願いいたしたく存じます。

一昨年はインフルエンザシーズン終了後に100本以上のワクチンを返品された医療機関が5件、昨シーズンは90件が確認されています。

つきましては、今シーズンはインフルエンザワクチンが不足している医療機関へ、可能な限りワクチンの融通が行われますよう、各医療機関において現在、過剰と思われる在庫、卸の予約等ありましたら、出来る限り12月22日(木)頃迄に早急に解消いただきますよう、貴会管下関係医療機関等への周知、協力方よろしくご高配の程お願い申し上げます。

なお、接種シーズン後に多量のワクチンの返品があった医療機関へは、県医師会として下記対応を考えておりますので、貴会におかれましてもご了知くださいますよう併せてよろしくお願い申し上げます。

記

1. 今冬のインフルエンザワクチン接種シーズン後、100本を越えるワクチンを返品した医療機関へは、当該所属医師会長からの嚴重注意を行うことを考慮する。
2. 今年より2年連続で多量の返品があった医療機関については、厚労省は公表することもありうるとしておりますが、本会内においても医療機関の名称の公表等を行うことを考慮する。